

一般講演

5月29日 午前

A会場 (9:00~11:55)

- 9:00 2A01 アミノ酸骨格を利用したフリーデルークラフツ反応の検討
○村井勇太, 橋床泰之, 橋本 誠 (北海道大院・農)
- 9:15 2A02 Native Chemical Ligation 法を用いた殺虫性ペプチド LaIT1 の効率的合成
○石堂嵩典, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川 恒 (京都大院・農)
- 9:30 2A03 光反応性アセトゲニンの合成と作用機構研究
○安部真人, 山本修平, 村井正俊, 三芳秀人 (京都大院・農)
- 9:45 2A04 3,4,5-三置換-4H-1,2,4-トリアゾール環構造を有する抗 JH 活性物質の合成探索
○山田直隆¹, 坂本佳彦¹, 上田麻紀子¹, 古田賢次郎², 桑野栄一¹
(¹九州大院・農, ²島根大・生物資源科)
- 10:00 2A05 昆虫脱皮ホルモン受容体リガンドの分子設計
○原田俊幸, 中川好秋, 山田 豊, 大江武弘, 宮川 恒
(京都大院・農)
- 10:15 2A06 新規殺虫剤レピメクチンの創出
○築山孝弘, 一ノ瀬礼司, 大林 崇, 新美信哉, 永井潤子, 木下文子, 梶野史恵, 中川春美, 田中啓司
(三井化学アグロ(株)・農業化学研)
- 10:30 (休憩)
- 10:40 2A07 光親和性イベルメクチン誘導体の合成と抑制性グルタミン酸受容体に対する結合活性
○池田 泉¹, 布施利紀¹, 松田一彦², 尾添嘉久¹
(¹島根大・生物資源科, ²近畿大・農)
- 10:55 2A08 トリフルオロアセチルフェーマコフォアを有するネオニコチノイドの構造活性相関
○大野育也¹, 青島麻子², 富澤元博², 熊沢 智³, 利部伸三²
(¹岐阜大院・連農, ²岐阜大・教育, ³(株)クレハ)
- 11:10 2A09 化合物ライブラリーと *in silico screening* を応用したジベレリン受容体 *GID1* に作用する化合物の探索と合成展開
ユン ジョンミン¹, 早瀬大貴¹, 瀬戸秀春², 林謙一郎³, 中嶋正敏¹,
○浅見忠男¹ (¹東京大院・農生科, ²理研・基幹研, ³岡山理科大・生物化学)
- 11:25 2A10 新規除草剤フェノキサスルホンに関する研究 (第1報) -イソキサゾリン系水稻用除草剤の構造と生物活性-
○伊藤 稔¹, 中谷昌央¹, 高橋優樹², 藤波 周², 花井 涼²
(¹(株)ケイ・アイ研究所, ²クミアイ化学工業(株))
- 11:40 2A11 新規除草剤ピリミスルファンに関する研究 (第1報) -スルホンアニリド系除草剤の合成と生物活性-
○吉村 巧¹, 中谷昌央¹, 朝倉草平², 花井 涼², 平岡 学²
(¹(株)ケイ・アイ研究所, ²クミアイ化学工業(株))

5月29日 午前

B会場 (9:00~12:00)

- 9:00 2B01 6-Tuliposide Bの全合成並びに構造活性相関研究
○重富顕吾¹, 三橋進也¹, 加藤康夫², 生方 信¹
(¹北海道大院・農, ²富山県立大・工)
- 9:15 2B02 ABA合成類縁体の病害抵抗性抑制効果とその構造活性相関
○徐 銀卿¹, 中村英光¹, 上野琴巳¹, 轟 泰司², 浅見忠男¹
(¹東京大院・農生科, ²静岡大・農)
- 9:30 2B03 放線菌 *Streptomyces coelicolor* の自己孢子発芽抑制物質
○夏目雅裕, 青木 友, 川出 洋 (東京農工大院・共生科学技術研)
- 9:45 2B04 キュウリが分泌するストリゴラクトンの構造解析
○謝 肖男¹, 米山香織², 内田健一², 野村崇人¹, 竹内安智¹,
米山弘一¹ (¹宇都宮大・雑草研セ, ²帝京大・バイオ)
- 10:00 2B05 サイトカイニンはいネのストリゴラクトン生産を抑制する
○米山香織^{1,3}, 朝比奈雅志¹, 謝 肖男², 野村崇人², 竹内安智²,
横田孝雄¹, 米山弘一² (¹帝京大・バイオ, ²宇都宮大・雑草研セ,
³日本学術振興会特別研究員 PD)
- 10:15 2B06 ストリゴラクトン生合成阻害剤の創製と構造活性相関
○伊藤晋作¹, 北畑信隆¹, 梅原三貴久², 花田篤志², 上野琴巳¹,
増口 潔², 米山弘一³, 経塚淳子⁴, 山口信次郎², 浅見忠男¹
(¹東京大院・農生科・応生科, ²理研・PSC, ³宇都宮大・雑草研セ,
⁴東京大院・農生科・生産環境)
- 10:30 2B07 *Trans*-メチルジャスモン酸は *trans*-ジャスモノイルイソロイシン
に変換される
○田母神 繁, 阿部 誠, 野下浩二, Randeep Rakwal, Ganesh Agrawal
(秋田県立大・生物資源科)
- 10:45 2B08 ジベレリン代謝酵素制御剤の探索
○大谷征史, Yoon Jung-Min, Park Seung-Hyun, 浅見忠男, 中嶋正敏
(東京大院・農生科)
- 11:00 2B09 いネ *s1* 変異体におけるインドール-3-酢酸の蓄積
中尾崇人¹, 松田洋子¹, ○石原 亨², 若狭 暁³, 宮川 恒¹
(¹京都大院・農, ²鳥取大・農, ¹東京農大・農)
- 11:15 2B10 殺ボウフラ活性を示す植物成分の探索 (2): ムラサキケマン
(*Corydalis incisa*) に含まれる殺虫性アルカロイド
○上野民夫¹, 井上雅文¹, 勝田純郎¹, 上野紳吾², 朴 杓允²
(¹大日本除虫菊 (株)・中央研, ²神戸大院・農)
- 11:30 2B11 マダラサソリ毒液に含まれる殺虫性ペプチド Im-3 の単離と同定
○河内智行, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川 恒 (京都大院・農)
- 11:45 2B12 ハクサイ根から分離した *Bacillus amyloliquefaciens* が生産する2群
のペプチド系抗真菌性物質の単離精製と構造解析
○園田純寛, 杉田法順, 崎浜靖子, 橋床泰之 (北海道大院・農)

5月29日 午前

C会場 (9:00~11:40)

- 9:00 2C01 Behavior of fipronil and its sulfone metabolite in paddy environment
Dang Quoc Thuyet, 本林 隆, Nguyen Hai Doan, 玉 正訓, Pisith Sok, Boulange Julien, 近藤 圭, ○渡邊裕純 (東京農工大)
- 9:15 2C02 Wash-off of fipronil and its metabolites from concrete surface using simulated rainfall in California
○Dang Quoc Thuyet¹, Brant Jorgenson², Thomas M. Young², Chis Tyson², 渡邊裕純¹ (¹東京農工大, ²University of California・Davis)
- 9:30 2C03 ヒト代謝酵素 CYP3A4 と CYP2C19 の基質認識機構における差異
— Tebufenozide を例として —
○城谷直紀¹, 十川 萌¹, 生城真一², 榊 利之², 原田俊幸¹, 宮川 恒¹, 松井正義³, 味方和樹³, 西岡和彦³, 平井伸博¹, 赤松美紀¹
(¹京都大院・農, ²富山県立大・工, ³住友化学 (株)・生科研)
- 9:45 2C04 新規昆虫行動制御剤ピリフルキナゾン (コルト®) に関する研究
(第2報): 動物代謝
○泰永涼子, 吉實隆志, 正木隆男, 上原正浩, 元場一彦, 井上和美
(日本農薬 (株)・研究開発本部)
- 10:00 2C05 家庭用防疫薬 S-1846Z (プロフルトリン) のラットにおける代謝
○安部 潤, 永堀博久, 大森理恵, 味方和樹, 西岡和彦, 金子秀雄
(住友化学 (株)・生科研)
- 10:15 (休憩)
- 10:25 2C06 除草剤 propyrisulfuron のラットにおける代謝
○味方和樹, 竹内逸人, 羽子田真理, 西岡和彦, 金子秀雄
(住友化学 (株)・生科研)
- 10:40 2C07 新規除草剤ピリミスルファンのラットにおける代謝
○池田光政, 水谷浩之 (クミアイ化学工業 (株)・生科研)
- 10:55 2C08 イマズスルフロンのラットにおける代謝: 新規代謝物の同定
○永堀博久, 大森理恵, 味方和樹, 富ヶ原祥隆, 西岡和彦, 金子秀雄 (住友化学 (株)・生科研)
- 11:10 2C09 計算化学による GSH 抱合のメカニズムの解明と展望 —有機リン
殺虫剤プロチオホスのイエバエに於ける活性化を事例に—
○柴崎敬大, 若井 淳, 宮本 徹 (東京農業大・生物応用化)
- 11:25 2C10 多機能吸着剤を用いた水中の有害化学物質の除去技術開発
○殷 熙洙¹, 馬場浩司¹, 柴田康行², 佐々木裕子³, 崔 宰源⁴, 金 倫碩⁴, 福井博章⁵, 飯泉恵美子⁵
(¹農環技研, ²国環研, ³都環科研, ⁴韓国水資源公社, ⁵東京シンコール)

5月29日 午後

A会場 (15:30~17:45)

- 15:30 2A12 コナガにおける標的部位の感受性の低下と解毒分解酵素活性の増大による合成ピレスロイド剤抵抗性について
○園田昌司 (岡山大・資源生物科研)
- 15:45 2A13 新規殺虫剤レピメクチンの作用機構
○佐藤一行¹, 田中啓司¹, 松田一彦², 尾添嘉久³
(¹三井化学アグロ(株)・農業化学研, ²近畿大・農, ³島根大・生物資源科)
- 16:00 2A14 幼若ホルモンエステラーゼの活性発現に重要なアミノ酸残基に関する考察
○塩月孝博, 坪田拓也, 中倉貴代, 篠田徹郎 (農生資研・昆虫科学研究領域)
- 16:15 2A15 フェノールアミンレセプターのリガンド応答
○尾添嘉久, 黄佳, 陳曦, 宮澤和也 (島根大・生物資源科)
- 16:30 2A16 イミダクロプリドのイミダゾリジン環エチレン部位に置換基を有する類縁体の殺虫活性
○栗山光博, 西脇寿, 長岡ひかる, 山内聡, 首藤義博 (愛媛大・農)
- 16:45 2A17 ミトコンドリア複合体-I 阻害剤 Δlac -アセトゲニンの結合部位の同定
○村井正俊, 角谷信至, 崎山直人, 三芳秀人 (京都大院・農)
- 17:00 2A18 抑制性グルタミン酸受容体の構造多様性とイベルメクチン感受性
○古谷章悟¹, 赤松美紀², 松田一彦¹ (¹近畿大・農, ²京都大院・農)
- 17:15 2A19 イエバエのグルタミン酸作動性クロロイオンチャネルの遺伝子および免疫組織化学的解析
○喜多知¹, 尾添富美代², 東政明¹, 尾添嘉久²
(¹鳥取大院・連農, ²島根大・生物資源科)
- 17:30 2A20 グルタミン酸開口型クロライドチャネルにおけるミルベマイシン結合部位の同定
○山口真央¹, 尾添富美代², 澤嘉弘², 尾添嘉久²
(¹島根大院・生物資源科・生物生命, ²島根大・生物資源科・生命工)

5月29日 午後

B会場 (15:30~18:00)

- 15:30 2B13 植物の高温ストレス障害の軽減効果をもつ化合物の探索
○伊代住浩幸, 貫井秀樹, 加藤公彦
(静岡県農林技術研)
- 15:45 2B14 分光光度計を用いた 4-HPPD 阻害化合物の探索法
○池田佑美¹, 早瀬史章², 大野竜太³, 佐藤幸治¹ (¹玉川大院・農,
²玉川大・農, ³財 相模中央化学研)
- 16:00 2B15 新規除草剤フェノキサスルホンに関する研究 (第2報)
ーフェノキサスルホンの水稲用除草剤としての作用特性ー
○高橋優樹¹, 藤波 周¹, 花井 涼¹, 伊藤 稔², 中谷昌央²
(¹クミアイ化学工業 (株), ²(株) ケイ・アイ研究所)
- 16:15 2B16 新規水稲用除草剤プロピリスルフロロンに関する研究
ープロピリスルフロロンおよび関連化合物の合成と活性ー
○大和誠司¹, 梶原ゆかり¹, 池田 源¹, 西山孝行¹, 田渕学典¹,
田中 易² (¹住友化学 (株)・農化研, ²ヤシマ産業 (株)・技術本部)
- 16:30 2B17 新規除草剤ピリミスルファンに関する研究 (第3報)
ー水稲用一発処理除草剤としての特性ー
○朝倉草平¹, 花井 涼¹, 平岡 学¹, 吉村 巧², 中谷昌央²
(¹クミアイ化学工業 (株), ²(株) ケイ・アイ研究所)
- 16:45 2B18 新規除草剤 HOK-201 (ipfencarbazone(iso)) に関する研究 (第4報)
ー水稲用除草剤としての作用特性(2)ー
○笠原達矢, 竹内 崇, 岡村充康, 木戸庸裕, 沖田洋行
(北興化学工業 (株))
- 17:00 2B19 新規微生物農薬殺菌剤 “アグロケア®水和剤” の開発
○前田光紀, 水井良典, 波多野連平, 前川祐一 (日本曹達 (株)・
小田原研)
- 17:15 2B20 ポリオキシンのハダニ類に対する生物活性
○河内真一郎, 藤牧 司, 徳村 潤, 堀 正大 (科研製薬 (株))
- 17:30 2B21 カメムシ臭気成分 4-oxo-(E)-2-hexenal の昆虫に対する毒性と抗
菌活性
○野下浩二, 木村広樹, 阿部 誠, 田母神 繁 (秋田県立大・
生物資源科)
- 17:45 2B22 サザンカ油粕粒剤, 木酢液, 竹酢液はチャコウラナメクジに効くか?
ー忌避効果試験方法ー
○田中 寛, 安達鉄矢, 柴尾 学 (大阪環農水総研)

5月29日 午後

C会場 (15:30~18:15)

- 15:30 2C11 農薬流出予測モデルによる現地調査をもとにした稲作水管理の不
確実性解析
○近藤 圭¹, Boulange Julien¹, 渡邊裕純¹, 吉野克則²,
Thai khan Phong², 原田昌佳², 平松和昭², 井上 剛³
(¹東京農工大・農, ²九州大院・農, ³福岡県南水道企業団)
- 15:45 2C12 育苗箱施用および水面施用による田面水, 土壌および稲体中にお
ける農薬の動態
○堀尾 剛, 岩船 敬, 稲生圭哉 (農環技研)
- 16:00 2C13 稲体による根からの農薬の取り込みを考慮した PADDY モデルの
開発ー育苗箱施用および水面施用農薬への適用ー
○稲生圭哉, 堀尾 剛, 岩船 敬 (農環技研)
- 16:15 2C14 幼植物における ¹⁴C 標識へプタクロルの吸収, 移行の様子
○林 靖, 亀代麻衣子, 佐藤 清 ((財) 残留農薬研究所・化学部)
- 16:30 2C15 新規除草剤ピリミスルファンの水稲における代謝及び残留性
○水谷浩之, 池田光政 (クミアイ化学工業(株)・生科研)
- 16:45 2C16 新規除草剤ピリミスルファンの土壌における代謝及び残留性
○菅野淳夫, 池田光政, 水谷浩之 (クミアイ化学工業(株)・生科研)
- 17:00 2C17 分解菌群集積炭化素材を用いたトリアジン複合汚染土壌のバイオ
レメディエーション
○山崎健一^{1,2}, 藤井邦彦³, 岩崎昭夫⁴, 内村 泰¹, 高木和広^{1,2}
(¹東京農業大, ²農環技研, ³新潟大, ⁴興和(株)・総研)
- 17:15 2C18 微小な土壌粒子から 2,4-D で集積される微生物群集構造の特徴
伊東夕海, ○井藤和人, 巢山弘介 (島根大・生物資源科)
- 17:30 2C19 木炭還流法を用いたアルドリントランスジオール分解菌の純化・
集積
○榊原風太^{1,2}, 片岡良太², 清田洋正³, 内村 泰¹, 高木和広^{1,2}
(¹東京農業大院, ²農環技研, ³東北大院)
- 17:45 2C20 エンドスルファン連用土壌から分離した糸状菌による土壌中のデ
ィルドリン分解
○片岡良太, 高木和広 (農環技研)
- 18:00 2C21 リボソームタンパク質のプロテオーム解析によるアルキルフェノー
ルポリエトキシレート分解菌の同定とその最適化
○堀田雄大¹, 寺本華奈江^{2,3}, 佐藤浩昭², 吉川博道⁴, 細田晃文¹,
田村廣人¹ (名城大・農¹, 産総研・環境管理², 日本電子³, 福岡工大・
工⁴)

5月30日 午前

A会場 (9:00~12:00)

- 9:00 3A01 細胞壁合成阻害剤 micafungin が *Neurospora crassa* の3種類の MAP キナーゼに与える影響
○亀井誠之, 山下和宏, 高橋正和, 一石昭彦, 藤村 真
(東洋大院・生命科学)
- 9:15 3A02 MFS トランスポーター *ant-1* 破壊株の QoI 剤感受性とシアン耐性呼吸の誘導
○高橋正和¹, 山下和宏¹, 亀井誠之¹, 坂野真平¹, 高垣真喜一², 藤村 真¹ (¹東洋大院・生命科学, ²クミアイ化学工業(株))
- 9:30 3A03 アカパンカビのフルジオキシニル耐性菌の分生子生存活性の低下とその機構
○山下和宏, 高橋正和, 亀井誠之, 一石昭彦, 藤村 真
(東洋大院・生命科学)
- 9:45 3A04 キュウリ褐斑病菌及びうどんこ病菌のボスカリド高度耐性菌は新規 SDHI 剤フルオピラムに交さ耐性を示さない
○石井英夫^{1,2}・宮本拓也³・牛尾進吾⁴・柿畷 眞¹ (¹筑波大院・生命環境, ²農環技研, ³茨城農総セ園研, ⁴千葉農林総研)
- 10:00 3A05 殺菌剤 benthialavdicarb-isopropyl (KIF-230) の作用機構
○藤岡智則, 三宅 裕, 高垣真喜一, 角 康一郎, 清水 力
(クミアイ化学工業(株))
- 10:15 3A06 プロベナゾール処理によって誘導されるサリチル酸グルコシルトランスフェラーゼ (SAGTase) の構造と機能解析
○梅村賢司¹, 山田雅胤², 安西弘行³, 三富正明¹
(¹明治製菓・生物産業研究所, ²明治製菓・医薬研究所, ³茨城大・遺伝子実験施設)
- 10:30 3A07 新規除草剤フェノキサスルホンに関する研究 —作用機構解析—
○種谷良貴, 藤岡智則, 堀田順子, 角 康一郎, 清水 力
(クミアイ化学工業(株))
- 10:45 3A08 寄生雑草ヤセウツボの発芽に関与する糖分解酵素に関する研究
○若林孝俊¹, Benesh Joseph¹, 米山弘一², 竹内安智², 杉本幸裕³, 岡澤敦司¹
(¹大阪大院・工, ²宇都宮大・雑草研セ, ³神戸大院・農)
- 11:00 3A09 イネの全身獲得抵抗性誘導に及ぼす環境ストレスの影響の解析
○草島美幸¹, 安田美智子¹, 浅見忠男², 篠崎 聡¹, 仲下英雄¹
(¹理研・知財セ, ²東京大院・農生科)
- 11:15 3A10 抗菌性リポペプチド iturin の病害抵抗性誘導能
～シロイヌナズナを宿主とした病害抑制効果～
○黒澤佑太, 樋口恭子, 三輪睿太郎, 横田健治(東京農業大院農・農化)
- 11:30 3A11 非病原性 *Fusarium oxysporum* のトマト組織での動態観察と萎凋病防除機構に関する考察
小川友美¹・大寺宇織¹・雨宮良幹²・寺岡 徹¹・○有江 力¹
(¹東京農工大院・農, ²千葉大・園芸)
- 11:45 3A12 新規エリシターペプチドの植物における防御応答誘導機構
小野友慈, ○菰田依里子, 宮下正弘, 宮川 恒(京都大院・農)

5月30日 午前

B会場 (9:00~11:55)

- 9:00 3B01 *Burkholderia mimosarum* 901-5B株によるイネ苗立枯細菌病菌
*Burkholderia plantarii*のトロポロン産生抑制
○橋床泰之¹, 工藤亮太¹, 井沢典彦² (¹北海道大院・農,
²クミアイ化学工業(株))
- 9:15 3B02 イネいもち病菌弱毒化マイコウイルス (*Magnaporthe oryzae*
chrysovirus 1)の生物防除資材としての潜在性
○森山裕充, 浦山俊一, Le Minh Tuong, 福原敏行, 有江 力,
寺岡 徹(東京農工大院・農)
- 9:30 3B03 イネいもち病菌の相同組換え率に及ぼす化学ストレスの影響
○荒添貴之¹, 大里修一¹, 倉橋良雄¹, 有江 力², 米山勝美¹
(¹明治大・農, ²東京農工大院・農)
- 9:45 3B04 トマトアルターナリア茎枯病菌が保有するAAL毒素生合成遺伝子
(*ALT*)クラスターの構造および機能解析
○児玉基一郎¹, 赤木靖典¹, 柘植尚志² (¹鳥取大・農,
²名古屋大院・生命農学)
- 10:00 3B05 圃場検診に向けたトマト萎凋病菌レースの分子生物学的識別法
稲見圭悟¹, 吉岡千津², 平野泰史³, 川部眞登⁴, 對馬誠也⁵,
田代康介⁶, 久原 哲⁶, 寺岡 徹², 有江 力² (¹東京農工大院・
連農, ²東京農工大院・農, ³埼玉農総研セ, ⁴中央農研, ⁵農環研,
⁶九大院・農)
- 10:15 3B06 有機リン系殺虫剤によるソルガムの葉害に関する遺伝子領域の解析
○川東広幸¹, 安藤 露², 榊原風太^{1,3}, 米丸淳一¹, 春日重光⁴,
松本 隆¹ (¹農業生物資源研, ²農林水産先端技術研, ³東京農業大,
⁴信州大・農)
- 10:30 (休憩)
- 10:40 3B07 ミカンキイロアザミウマにおける幼若ホルモンによる脱皮・変態
の制御機構
○水口智江可, 田中美帆, 三浦 健, 田中利治(名古屋大院・生命農学)
- 10:55 3B08 アカパンカビのDNA修復変異株におけるフルジオキシニルおよび
イプロジオン耐性菌の出現頻度
穴澤初夫¹, 高橋 司¹, 田中志門², 矢部秀和¹, 藤村 真²,
一石昭彦² (¹東洋大院・生命科学, ²東洋大・生命科学)
- 11:10 3B09 数理モデルを活用した千葉県内主要水田土壌における田面水中農薬
濃度の把握
○山本幸洋¹, 稲生圭哉², 近藤 圭³, 渡邊裕純³, 真行寺 孝¹
(¹千葉農林総研, ²農環研, ³東京農工大)
- 11:25 3B10 複合的影響を考慮した農薬の生態リスク評価 ～水稻防除体系を
例に～
○永井孝志, 稲生圭哉, 岩船 敬, 横山淳史, 堀尾 剛(農環研)
- 11:40 3B11 ズッキーニ品種におけるダイオキシシン類の蓄積性能の比較
○児玉典子¹, 松尾申遼¹, 殷 熙洙², 山崎清志¹, 乾 秀之^{1,3}
(¹神戸大院・農, ²農環研・有機化学物質研究領域, ³神戸大・

遺伝子実験セ)

5月30日 午前

C会場 (9:00~12:00)

- 9:00 3C01 新規除草剤ピリミスルファンに関する研究 (第2報)
一粒剤の溶出設計—
○平岡 学, 杉村俊雄, 池内利祐, 朝倉草平 (クミアイ化学工 (株))
- 9:15 3C02 蛍光顔料を用いた農作物への付着特性の評価方法
○小川一輝¹, 加藤康仁¹, 米川 努¹, 宮原佳彦², 吉田隆延²,
水上智道², 牧野英二², 臼井善彦²
(¹日本化薬 (株), (独)食総研・生研セ)
- 9:30 3C03 カップ法による土壌くん蒸剤ガスのプラスチックフィルム透過速度の評価
○小原裕三, 與語靖洋 (農環技研・有機化学物質研究領域)
- 9:45 3C04 スプレー散布時に生成する微小粒子生成の展着剤を用いた要因解析
○耿 菲, 小原裕三, 與語靖洋 (農環研・有機化学物質研究領域)
- 10:00 3C05 兵庫県下に流通する国産農産物中の農薬残留実態調査
—15年間(1995~2009年度)の変遷—
○秋山由美, 吉岡直樹, 松岡智郁, 赤松成基, 三橋隆夫
(兵庫県立健康生活科学研・健康科学研究セ)
- 10:00 3C06 施設栽培における農薬ベーパードリフトの薬剤間の比較 (第2報)
○市原 勝¹, 佐藤敦彦¹, 小原裕三² (¹高知県農業技術セ, ²農環技研)
- 10:15 3C07 近紫外線除去フィルム下で栽培したコマツナにおける農薬の残留性
○池田悠里, 橋本良子 (東京農総研)
- 10:30 3C08 前作キュウリに使用した農薬の後作コマツナへの移行
○青木こずえ, 市原 勝 (高知県農業技術セ)
- 10:45 3C09 キュウリのディルドリン濃度に影響を及ぼす変動要因の解明 (第1報)
—品種・作型および着果節位の影響—
○岡本真理¹, 大谷 卓², 清家伸康² (¹山形県農業総合研究セ,
²農環技研)
- 11:00 3C10 土壌中に微量残留したピリダフェンチオンのオオバへの移行
○佐藤敦彦, 島本文子, 市原 勝 (高知県農業技術セ)
- 11:15 3C11 キュウリのディルドリン濃度に影響を及ぼす変動要因の解明 (第2報)
—生育環境の影響—
○大谷 卓, 清家伸康, 村野宏達 (農環技研)
- 11:30 3C12 メタノールを用いた有姿抽出法による農薬のGC-MS分析
○谷川元一, 廣野公志 (奈良農総セ)
- 11:45 3C13 簡易ネット障壁のドリフト防止効果と設置作業の省力化
○廣野公志, 平浩一郎, 國本佳範, 谷川元一 (奈良農総セ)